平成24年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年２月10日

上 場 会 社 名	株式会社不動テトラ	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	1813	URL	http://www.fudotetra.co.jp/
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)竹原　有二	
問合せ先責任者	(役職名)執行役員管理本部企画財務部長	(氏名)山下　晃	TEL (03)5644-8500
四半期報告書提出予定日	平成24年２月13日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満四捨五入)

１．平成24年３月期第３四半期の連結業績（平成23年４月１日～平成23年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第３四半期	34,281	△11.2	△1,102	―	△1,431	―	△1,617	―
23年３月期第３四半期	38,618	△13.5	△636	―	△1,040	―	△1,187	―

（注）　包括利益　24年３月期第３四半期　△1,687百万円(－%)　23年３月期第３四半期　△1,209百万円(－%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
24年３月期第３四半期	△9.83	―
23年３月期第３四半期	△7.21	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年３月期第３四半期	38,139	11,006	28.5
23年３月期	43,878	12,693	28.7

（参考）　自己資本　24年３月期第３四半期 10,879百万円　23年３月期 12,575百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
23年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年３月期	―	0.00	―		
24年３月期(予想)				0.00	0.00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	54,000	△3.7	1,100	1,179.1	1,000	147.5	100	―	0.61

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―社（　　）、除外　　―社（　　）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年３月期３Ｑ	182,025,228株	23年３月期	182,025,228株
②　期末自己株式数	24年３月期３Ｑ	17,540,066株	23年３月期	17,539,191株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年３月期３Ｑ	164,485,500株	23年３月期３Ｑ	164,486,649株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。
この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）２ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（２）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結業績予想に関する定性的情報 ……2
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
四半期連結損益計算書 ……6
四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……8
（４）セグメント情報等 ……8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8
４．補足情報 ……9
受注高・売上高・繰越高（連結ベース） ……9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気の低迷から持ち直しの動きが見られたものの、欧州財政危機を背景とした海外経済の減速や歴史的な円高水準の影響から先行き不透明な状況で推移しました。

建設業界においては、民間建設投資は緩やかながらも回復基調で推移し、公共部門についても、一部では震災復旧工事の押上げ効果により増加したものの、本格的な復興予算の執行は翌年度と見られ、厳しい経営環境が続きました。

当第３四半期連結累計期間の業績については、公共事業の執行遅れの影響が大きく、受注高が28,992百万円（前年同四半期比24.3%減）となったことで、 売上高は34,281百万円（前年同四半期比11.2%減）と減収となりました。

この結果、損益については、販売費及び一般管理費など固定費の削減に努めましたが、営業損失1,102百万円（前年同四半期636百万円の損失）、経常損失1,431百万円（前年同四半期1,040百万円の損失）、四半期純損失1,617百万円（前年同四半期1,187百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの四半期別売上高は、建設業界における一般的な傾向と同様に、第４四半期に完成する工事の割合が大きく、第４四半期の売上高の割合が他の四半期に比べ、著しく高くなるという特性を有しています。従いまして、業績面におきましても同様の季節的変動特性があります。

当社グループの事業別概況は次のとおりで、各事業の成績は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しています。（セグメント情報の詳細については、８ページをご覧ください。）

（単位：百万円）

	受注高			売上高			営業利益		
	前第３四半期連結累計期間	当第３四半期連結累計期間	増減	前第３四半期連結累計期間	当第３四半期連結累計期間	増減	前第３四半期連結累計期間	当第３四半期連結累計期間	増減
土木事業	18,802	9,910	△8,892	20,501	18,478	△2,023	△373	△137	236
地盤改良事業	15,819	16,086	268	15,111	13,385	△1,726	△261	△656	△396
ブロック事業	3,652	3,018	△635	3,106	2,388	△718	△68	△367	△299

（土木事業）

土木事業は、公共事業執行の遅れから受注高ならびに売上高は減少となりましたが、営業損益は、選別受注や固定費の削減効果により採算性が改善し、損失137百万円と前年同四半期比で236百万円の改善となりました。

（地盤改良事業）

地盤改良事業は、受注高は前期並となったものの、受注及び着工時期の遅れにより年度前半での施工高が減少したことで売上高が減収となり、固定費の削減があったものの営業損益は損失656百万円と前年同四半期比で396百万円の悪化となりました。

（ブロック事業）

ブロック事業は、公共事業予算の執行保留の影響に加え、震災復興関連事業の発注時期も年度後半となったことで受注高ならびに売上高は減少し、固定費の削減があったものの営業損益は損失367百万円と前年同四半期比で299百万円の悪化となりました。

（２）連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向等を踏まえ、平成23年５月13日に公表いたしました、平成24年３月期の通期連結業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．【四半期連結財務諸表】

（１）【四半期連結貸借対照表】

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	3,969	3,283
受取手形・完成工事未収入金等	21,392	14,965
有価証券	20	10
未成工事支出金等	553	1,296
販売用不動産	667	659
材料貯蔵品	647	550
その他	2,368	2,887
貸倒引当金	△196	△152
流動資産合計	29,420	23,499
固定資産		
有形固定資産	5,784	6,575
無形固定資産	353	279
投資その他の資産		
投資有価証券	5,235	4,872
その他	5,302	5,120
貸倒引当金	△2,217	△2,206
投資その他の資産合計	8,320	7,786
固定資産合計	14,458	14,641
資産合計	43,878	38,139
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	14,852	13,937
短期借入金	9,481	4,424
未払法人税等	73	68
未成工事受入金等	1,637	2,020
引当金	343	237
その他	2,509	1,400
流動負債合計	28,894	22,086
固定負債		
長期借入金	－	1,800
退職給付引当金	1,261	1,590
その他の引当金	14	6
その他	1,016	1,652
固定負債合計	2,291	5,048
負債合計	31,185	27,134

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	14,756	14,756
利益剰余金	△6,931	△8,547
自己株式	△251	△251
株主資本合計	12,574	10,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△39	△112
為替換算調整勘定	40	34
その他の包括利益累計額合計	1	△78
少数株主持分	118	126
純資産合計	12,693	11,006
負債純資産合計	43,878	38,139

（２）【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第３四半期連結累計期間】

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高		
完成工事高	34,780	31,378
兼業事業売上高	3,838	2,903
売上高合計	38,618	34,281
売上原価		
完成工事原価	31,740	29,036
兼業事業売上原価	2,203	1,678
売上原価合計	33,944	30,714
売上総利益		
完成工事総利益	3,039	2,342
兼業事業総利益	1,635	1,225
売上総利益合計	4,674	3,567
販売費及び一般管理費	5,310	4,669
営業損失（△）	△636	△1,102
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	9	10
特許実施収入	40	16
その他	54	30
営業外収益合計	106	58
営業外費用		
支払利息	161	165
持分法による投資損失	284	169
その他	66	53
営業外費用合計	511	388
経常損失（△）	△1,040	△1,431
特別利益		
固定資産売却益	14	3
投資有価証券売却益	－	7
その他	104	0
特別利益合計	118	11
特別損失		
持分変動損失	－	43
災害による損失	－	17
その他	279	20
特別損失合計	279	80
税金等調整前四半期純損失（△）	△1,201	△1,500
法人税、住民税及び事業税	94	63
法人税等調整額	△122	44
法人税等合計	△28	107
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,173	△1,608
少数株主利益	13	9
四半期純損失（△）	△1,187	△1,617

【四半期連結包括利益計算書】

【第３四半期連結累計期間】

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,173	△1,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	△64
為替換算調整勘定	2	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△10
その他の包括利益合計	△36	△80
四半期包括利益	△1,209	△1,687
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,223	△1,696
少数株主に係る四半期包括利益	13	8

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

前第３四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

（単位:百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	土木事業	地盤改良事業	ブロック事業	合計	(注)1		(注) 2	(注)3
売上高								
外部顧客に対する売上高	21,487	13,684	3,086	38,257	361	38,618	－	38,618
セグメント間の内部売上高又は振替高	△985	1,426	20	461	380	841	△841	－
計	20,501	15,111	3,106	38,718	741	39,458	△841	38,618
セグメント損失(△)	△373	△261	△68	△701	△8	△709	73	△636

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の保険、サービス事業等からなります。

２　セグメント損失（△）の調整額73百万円には、セグメント間取引消去△33百万円、その他の調整額107百万円が含まれています。

３　セグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

当第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

（単位:百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	土木事業	地盤改良事業	ブロック事業	合計	(注)1		(注)2	(注)3
売上高								
外部顧客に対する売上高	18,323	13,394	2,202	33,919	363	34,281	－	34,281
セグメント間の内部売上高又は振替高	156	△9	186	333	217	550	△550	－
計	18,478	13,385	2,388	34,251	579	34,831	△550	34,281
セグメント損失(△)	△137	△656	△367	△1,161	△7	△1,168	66	△1,102

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の保険、サービス事業等からなります。

２　セグメント損失（△）の調整額66百万円には、セグメント間取引消去30百万円、その他の調整額36百万円が含まれています。

３　セグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

５．補足情報

受注高・売上高・繰越高（連結ベース）

当社グループにおける事業の状況は、以下のとおりです。

（単位:百万円）

区分	期別	前第３四半期連結累計期間（自　平成22年 4月 1日　至　平成22年12月31日）		当第３四半期連結累計期間（自　平成23年 4月 1日　至　平成23年12月31日）		比較	
	部門	金額	構成比（%）	金額	構成比（%）	金額	増減率（%）
受注高	工事	33,900	88.6	25,380	87.5	△8,520	△25.1
	型枠賃貸他	4,375	11.4	3,612	12.5	△764	△17.5
	計	38,275	100.0	28,992	100.0	△9,284	△24.3
売上高	工事	34,780	90.1	31,378	91.5	△3,402	△9.8
	型枠賃貸他	3,838	9.9	2,903	8.5	△934	△24.3
	計	38,618	100.0	34,281	100.0	△4,337	△11.2
繰越高	工事	40,347	97.4	33,422	96.7	△6,925	△17.2
	型枠賃貸他	1,062	2.6	1,153	3.3	91	8.5
	計	41,409	100.0	34,575	100.0	△6,834	△16.5